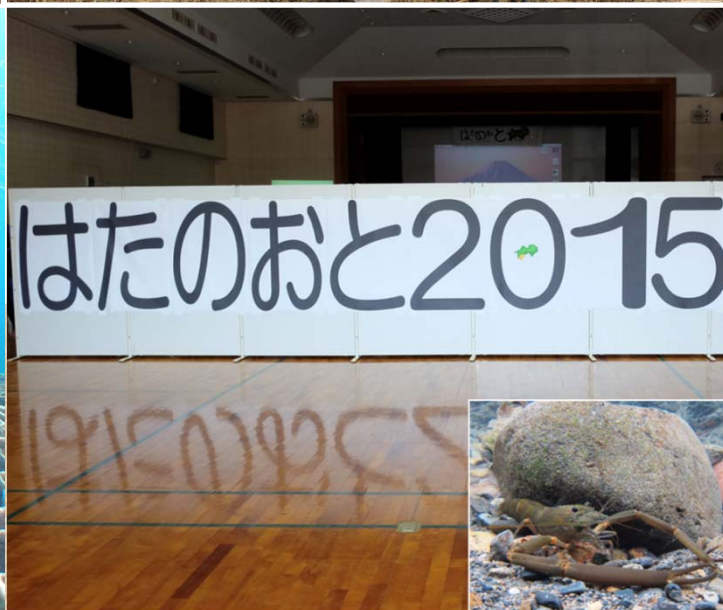


幡多地域生態系ネットワーク シンポジウム（第2回）

～貴重な生態系を保全し幡多の魅力と活力を高めよう～



● 日時：2018年6月23日（土）13:30～17:00

● 会場：中村地区建設協同組合会館3階会議室
高知県四万十市右山元町3-3-26

主催：国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所

- ①上段写真（左）：四万十川管内で越冬したナベツル等
- ②上段写真（右）：四万十つるの里づくりの会主催のツルの自然体験学習会（デコイの設置）
- ③下段写真（左）：土佐清水市・竜串湾内に群集するサンゴ
- ④下段写真（右）：幡多地域の探求と発信をおこなう研究発表会はたのおと、四万十川に生息するヒラテテナガエビ

開催主旨

幡多地域（四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）には、四万十川等が与えてくれる豊かな自然環境が残されています。

この豊かな自然環境は幡多地域の貴重な財産であり、自然並びに生態系を保全するとともに、地域の魅力・活力を高め将来に引き継いでいく必要があります。

幡多地域では、生態系ネットワークの形成並びに地域活性化に向けた取組意識の向上を目的として、平成30年1月13日（土）、幡多地域生態系ネットワークシンポジウム（第1回）を開催し、豊かな自然環境（資源）を再認識するとともに、自然と共生した地域づくりの方向性を確認したところです。

シンポジウム（第1回）に継続して、河川を基軸とした生態系ネットワークの形成並びに地域活性化に向けた取組意識の向上とあわせ、自然と共生した地域づくりの方向性の1つである「協働のかたちづくり」についてディスカッションを行うことを目的として、幡多地域生態系ネットワークシンポジウム（第2回）を開催します。

幡多地域生態系ネットワークシンポジウム（第2回） ～ プログラム ～

13:30 開会

13:35～ 基調講演

「協働を生み出す仕掛けとカタチ ～持続可能な開発目標と地域連携～」

・高知大学地域連携推進センター講師 梶 英樹氏

14:15～ 地域での取組紹介

①「魚のすみか はたの暮らし ～はたにある環境資源を活かすには～」

・Sakanayama Lab. 山下 慎吾氏

②「取組みを行う魅力と担い手づくり ～長続きする仕組みとは～」

・竜串の自然と共生した地域づくり協議会 浜口 和也氏

③「四万十ツルの里づくり ～ツルと共生する自然環境再生を目指して～」

・四万十つるの里づくりの会 佐伯 達雄氏

15:50～ 休憩

16:00～ パネルディスカッション

「自然と共生した地域づくりのための協働のかたちを考える」

コーディネーター 高知大学地域連携推進センター准教授 岡村 健志氏

16:45 閉会

【申込み】参加ご希望の方は、「所属又は団体名」、「お名前（ふりがな）」、「連絡先（電話番号）」を下記までご連絡ください。参加費は無料、先着順で受付し定員90名になり次第締切ります。

また、個人情報、本シンポジウムの開催に伴う事務手続きに限り使用します。

国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所計画課 黒田、田代（高知県四万十市右山2033-14）

電話：0880-34-7306（計画課直通） F A X：0880-34-1395 E-mail：skr-nakama45@mlit.go.jp